

小金井市立小金井第四小学校 令和4年度 学校経営方針

東京都教育委員会 教育目標

東京都教育委員会は、子どもたちが知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
 - 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
 - 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間
- の育成に向けた教育を重視する。

小金井市教育委員会 教育目標

一人一人の子供が未来を創造する当事者として活発な好奇心をもち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに成長することを願い

- 自他の人権や多様な文化を尊重し、寛容で思いやりのある人
- 自ら学び協働して問題を解決していく、創造力豊かな人
- 地域社会の一員として、社会貢献できる人
- 健康の大切さを理解し、心身ともにたくましく生きる人

小金井市立小金井第四小学校 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、広く国際社会に生きる人間として、心身ともに健康で生涯を通して学び続けることのできる児童の育成を目指す。

小金井市立小金井第四小学校の目指す児童像

- ・つよく ～心も体もたくましい子～
- ・かしこく ～よく考え実行する子～
- ・あたたかく ～思いやりのある子～

【目指す学校像】

- | | | | |
|---------------|----------------------------|----------------------------|-----------|
| ① 子どもが学びたい学校 | 勉強がわかる
いじめがない | 行事が楽しい
友達と仲良くできる | 自分の居場所がある |
| ② 保護者が行かせたい学校 | 学力を高めてくれる
何でも相談できる | 豊かな心を育ててくれる
学校が一体となっている | |
| ③ 地域と通い合う学校 | 地域に顔を向けている
学校に足を運びやすい | 地域が協力してくれる | |
| ④ 教職員が働きたい学校 | 自分の力を発揮できる
共に働く喜びが実感できる | 切磋琢磨し学び合える | |

【児童・保護者・地域から信頼される教師】

- 保護者から「595名の命」をお預かりしているという意識
- 保護者との連携をはかる判断と行動
- 児童理解に努め、良さを認め、持っている力を引き出せる教師
- 自らの職責を自覚し、資質・能力の向上に務める教師、地域と連携協力する教師
- 全体の奉仕者である教育公務員としての自覚と使命を果たす教師

重点目標	具 体 的 方 策
<p>〈学力の向上〉</p> <p>① 基礎基本の徹底による学力の向上</p> <p>② 「わかる・できる・活かす」授業の実現</p> <p>③ 外国語活動の充実</p> <p>④ 児童の学習意欲を高めるための指導と評価の一体化</p> <p>⑤ 家庭学習の充実</p>	<p>① 授業日数・授業時数の確保の徹底。 感染症防止対策を講じ、今年度カリキュラムの適切なマネジメントと円滑な実施。 3年～6年の算数における習熟度別少人数指導の実施。1・2年算数少人数指導。 学生ボランティア、学習指導員等の活用。理解不十分な児童の個別指導(補習学習)。</p> <p>② 授業規律の確立。(着席チャイム) 綿密な授業計画の立案と実施。(週案に基づいた緻密な計画と運用) 国語の授業研究を通して、児童の読解力の向上を図る展開、方法の工夫の追究。 体験型活動を取り入れた授業。学習課題をもたせ、追究、まとめに活用。 言語活動の充実。(調べ・まとめ・発表) ゲストティーチャーを活用した授業の展開。 プログラミング学習の推進。 GIGAスクール化に伴う次世代情報機器を活用しての教育活動の開発と工夫。</p> <p>③ 小金井市立小学校外国語活動モデルプラン等を活用。 ALT との連携を図り、3～6年における外国語活動・英語の円滑な実施。</p> <p>④ 児童による授業評価の実施。 外部講師等の指導による校内研究授業。若手教員研修及び自主研修による授業力の向上。 児童の発言、授業の様子、作品、ノート等から児童一人一人の学習状況の分析と指導。</p> <p>⑤ 宿題、自主学习等の勧めと家庭学習の推進。</p>
<p>〈豊かな心と体の育成〉</p> <p>① 人権教育の徹底</p> <p>② 「特別な教科 道徳」と道徳教育の充実</p> <p>③ 教育相談体制の充実</p> <p>④ 特別支援教育の充実</p> <p>⑤ 児童の心に寄り添う学級経営の推進</p> <p>⑥ 環境整備</p> <p>⑦ 読書活動の推進</p> <p>⑧ 安全教育の徹底</p> <p>⑨ 体力の向上</p> <p>⑩ 食育の推進</p>	<p>① 個人面談(1年生は5月)(2～6年は夏季休業中)の実施等、家庭との連携の推進。 いじめ根絶に向け、「いじめ対策委員会」を設置による、未然防止・早期発見・早期対応。</p> <p>② 児童の心情を深め、「考え、議論する」的確な授業展開。 道徳教育推進教師を中心に指導体制の充実を図り、「保護者・地域と連携した道徳授業」の展開と児童の道徳実践力の育成。</p> <p>③ 生活指導主任、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室教員・専門員を中心とした校内委員会の充実。生活指導全体会の充実。全教職員で全校児童を見守る体制の推進。 SC・SSW との連携と配慮を要する児童への的確な支援。 校長が2～3学期にかけて6年児童一人ひとりとの面談の実施。</p> <p>④ 「ひだまり教室」の円滑な進行と教職員・児童・保護者の理解促進に向けた取り組み。 特別支援教育コーディネーター、巡回指導教員、専門員、支援員の連携のもと、個に応じた支援の展開。</p> <p>⑤ 児童観察と「丁寧」を基本に児童の人格を尊重した言動の徹底。保護者との連絡を細かく行う。</p> <p>⑥ 日々の清掃活動の徹底。整理整頓と省資源「ゴミステーション」体制による環境への取り組み。</p> <p>⑦ 全校一斉朝読書「読書タイム」の実施。図書ボランティアによる「読み聞かせ」の実施。</p> <p>⑧ 学校安全計画に基づき、安全対応能力の向上を図る。交通安全の一層の充実。 防災教育読本や「3・11を忘れない」等の教材の活用。休み時間の訓練の実施。 食物アレルギーに対する自己管理能力の徹底。地域安全マップづくりの徹底。</p> <p>⑨ 「東京オリンピック・パラリンピック教育」後における体力向上に向けた取組の一層の推進。 芝生の特性を生かした日常的な体育活動の実践。持久走練習と「長縄チャレンジ」の継続。</p> <p>⑩ 給食食材の「地産地消」の推進。食への興味関心を高める情報の発信。</p>
<p>〈信頼される学校づくり〉</p> <p>① 家庭・地域との連携</p> <p>② 組織的な学校運営</p> <p>③ 教師としての資質向上</p> <p>④ 児童とともにある教師</p>	<p>① 市の「ハチドリ・プロジェクト」を推進し、環境教育、資源循環を意識した教育活動の実施。 学校だより・学年だより・学級だより・HP等により具体的に発信。 コミュニティースクール立ち上げの年。運営協議会委員との協議をもとに、教育活動の推進。 (ボランティア活動の充実。土・日のPTA行事、地域行事への参加。地域講師の活用) 学校公開日と土曜日授業の拡充。学校経営方針に関わる教員自己評価を年間2回実施と改善。 学校評価アンケート、行事アンケートの実施による教育活動の改善。 保護者との協力体制のもと児童の健全育成の推進。 地域自治会・町会・小金井消防署と連携し、「避難所運営」の円滑な計画・準備を推進する。</p> <p>② 学年会の充実。同一歩調の学年経営を推進。OJTの推進。</p> <p>③ 積極的に研修を行い、自己の研鑽に邁進していく姿勢と実践。</p> <p>④ 児童理解に努め、寄り添う教師。「報告・連絡・相談」と記録の徹底。</p>